



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月31日

上場会社名 株式会社ベルーナ

上場取引所

東

コード番号 9997

URL <http://www.belluna.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安野 清

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長

(氏名) 松田 智博

(TEL) 048-771-7753

四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日

配当支払開始予定日

平成30年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	79,161	5.7	3,850	△9.0	6,618	19.6	4,228	△2.4
30年3月期第2四半期	74,863	12.3	4,231	34.5	5,531	—	4,333	—

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 4,526百万円(△0.6%) 30年3月期第2四半期 4,553百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	43.49	—
30年3月期第2四半期	44.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	209,031	97,579	46.0
30年3月期	195,946	93,058	47.1

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 96,183百万円 30年3月期 92,344百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	6.25	—	6.25	12.50
31年3月期	—	7.50	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	180,000	11.3	15,000	15.3	15,500	17.0	10,500	8.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 1社 (社名) さが美グループホールディングス(株) 、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	31年3月期2Q	97,244,472株	30年3月期	97,236,456株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	932株	30年3月期	740株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	31年3月期2Q	97,237,271株	30年3月期2Q	97,236,197株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、良好な企業収益と雇用・所得環境を受けた内需の持ち直しにより、緩やかな回復基調が持続しております。一方で、景気回復の長期化による人手不足や、各国の通商政策・海外経済の動向などの影響により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。通信販売業界におきましては、電子商取引（EC）の急成長により市場の拡大は続いているものの、消費者のデフレマインドは根強く、企業間における価格競争の激化や配送コストの上昇など、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境下におきまして、当社グループは引き続き主力4事業（総合通販事業・専門通販事業・店舗販売事業・プロパティ事業）の強化に取り組んで参りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は79,161百万円（前年同期比5.7%増）となり、営業利益は総合通販事業でのDMや商品の配送料値上げなどにより3,850百万円（同9.0%減）となりました。また、為替関連損益が大きくプラスに転じたことで経常利益は6,618百万円（同19.6%増）、前期は固定資産売却益があったことなどから、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,228百万円（同2.4%減）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

## 〔総合通販事業〕

カタログ発行の後ろ倒しなどにより、売上高は36,017百万円（同3.3%減）となりました。また、セグメント利益は配送料の値上げなどにより832百万円（同23.9%減）となりました。

## 〔専門通販事業〕

化粧品事業が好調だったことにより、売上高は21,522百万円（同5.1%増）となりました。また、セグメント利益は化粧品事業の好調に加え、看護師向け通販事業及び健康食品事業の収益性改善もあり、1,193百万円（同66.9%増）となりました。

## 〔店舗販売事業〕

店舗事業では、天候不順等の影響により売上、営業利益ともに苦戦しました。一方で、さが美グループホールディングス(株)が新たに連結グループに加わったことにより、売上高は12,040百万円（同65.2%増）となり、セグメント利益は791百万円（同33.9%増）となりました。

## 〔ソリューション事業〕

大口クライアントの取引縮小で封入・同送サービスが苦戦したことにより、売上高は2,723百万円（同7.1%減）、セグメント利益は1,014百万円（同14.1%減）となりました。

## 〔ファイナンス事業〕

国内消費者金融事業の貸付金残高を伸ばしたことにより、売上高は1,859百万円（同10.0%増）、セグメント利益は812百万円（同12.3%増）となりました。

## 〔プロパティ事業〕

ホテル事業の売上増加が貢献したものの、不動産販売がなかったことにより、売上高は3,235百万円（同3.1%減）となりました。また、セグメント利益は、新規ホテルの開業に向けた費用の増加等により183百万円（同64.4%減）となりました。

## 〔その他の事業〕

卸売事業などで売上を伸ばし、売上高は2,334百万円（同6.0%増）となりました。一方で費用が先行して発生する衣裳レンタル事業の影響等により、セグメント損失は526百万円（前年同期は453百万円のセグメント損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末比3,968百万円増加し、93,957百万円となりました。これは主に現金及び預金が4,435百万円減少した一方で、営業貸付金が1,286百万円、商品及び製品が3,934百万円、その他の流動資産が1,665百万円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末比9,116百万円増加し、115,073百万円となりました。これは主に建物及び構築物が1,341百万円、土地が4,459百万円、その他投資が2,486百万円増加したことによるものであります。この結果、資産合計は、前連結会計年度末比13,084百万円増加し、209,031百万円となりました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末比9,407百万円増加し、51,739百万円となりました。これは主に、短期借入金が6,672百万円、その他負債が1,911百万円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末比844百万円減少し、59,712百万円となりました。これは主に長期借入金が598百万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末比8,563百万円増加し、111,451百万円となりました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末比4,521百万円増加し、97,579百万円となりました。この結果、自己資本比率は46.0%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ、4,417百万円減少し、17,610百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、1,235百万円(前年同期は1,251百万円の増加)となりました。主たる増加要因は、税金等調整前四半期純利益6,541百万円、減価償却費1,237百万円などであり、一方で、デリバティブ評価益1,699百万円、営業貸付金の増加1,203百万円、たな卸資産の増加2,097百万円、法人税等の支払額1,898百万円などが主な減少要因であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、10,472百万円(前年同期は7,212百万円の減少)となりました。主たる減少要因は、有形固定資産の取得による支出3,813百万円、子会社株式の取得による支出4,924百万円などであり、一方で、有価証券の売却による収入1,237百万円などがあります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、4,811百万円(前年同期は2,674百万円の増加)となりました。主たる増加要因は、短期借入金の純増額1,971百万円、長期借入れによる収入5,668百万円などであり、一方で、長期借入金の返済による支出1,961百万円などが主な減少要因であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の通期の業績予想につきましては、平成30年5月11日の公表から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,747	18,311
受取手形及び売掛金	10,009	10,375
営業貸付金	20,814	22,101
有価証券	424	1,094
商品及び製品	17,975	21,910
原材料及び貯蔵品	1,252	1,180
販売用不動産	3,871	4,186
仕掛販売用不動産	5,447	5,712
その他	7,977	9,643
貸倒引当金	△530	△557
流動資産合計	89,989	93,957
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,126	24,467
機械装置及び運搬具（純額）	723	703
工具、器具及び備品（純額）	359	807
土地	38,496	42,956
リース資産（純額）	278	248
建設仮勘定	12,565	13,142
有形固定資産合計	75,549	82,325
無形固定資産		
のれん	2,693	2,575
リース資産	896	748
その他	8,146	8,312
無形固定資産合計	11,737	11,635
投資その他の資産		
投資有価証券	14,271	14,037
長期貸付金	1,170	1,743
破産更生債権等	255	172
繰延税金資産	1,270	1,046
その他	2,268	4,754
貸倒引当金	△565	△641
投資その他の資産合計	18,670	21,112
固定資産合計	105,956	115,073
資産合計	195,946	209,031

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,381	18,487
短期借入金	7,652	14,325
未払費用	8,974	9,302
リース債務	505	489
未払法人税等	2,010	2,431
賞与引当金	714	715
返品調整引当金	86	90
ポイント引当金	560	539
その他	3,445	5,356
流動負債合計	42,331	51,739
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	45,472	44,874
利息返還損失引当金	726	705
リース債務	702	535
退職給付に係る負債	33	216
役員退職慰労引当金	258	258
資産除去債務	523	924
その他	2,840	2,198
固定負債合計	60,556	59,712
負債合計	102,888	111,451
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,607	10,612
資本剰余金	10,958	10,963
利益剰余金	71,809	75,430
自己株式	△0	△1
株主資本合計	93,374	97,005
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,295	1,386
為替換算調整勘定	△2,292	△2,175
退職給付に係る調整累計額	△33	△32
その他の包括利益累計額合計	△1,029	△821
非支配株主持分	713	1,395
純資産合計	93,058	97,579
負債純資産合計	195,946	209,031

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成30年 4 月 1 日 至 平成30年 9 月 30 日)
売上高	74,863	79,161
売上原価	33,169	34,146
売上総利益	41,694	45,015
返品調整引当金繰延差額	16	4
差引売上総利益	41,678	45,011
販売費及び一般管理費	37,446	41,161
営業利益	4,231	3,850
営業外収益		
受取配当金	167	178
為替差益	597	536
デリバティブ評価益	344	1,699
その他	533	574
営業外収益合計	1,643	2,988
営業外費用		
支払利息	63	79
支払手数料	4	27
減価償却費	55	49
店舗閉鎖損失	134	-
支払補償費	53	-
その他	31	64
営業外費用合計	343	220
経常利益	5,531	6,618
特別利益		
固定資産売却益	987	-
投資有価証券売却益	14	33
特別利益合計	1,001	33
特別損失		
固定資産除却損	31	110
有価証券評価損	90	-
投資有価証券評価損	370	-
為替換算調整勘定取崩損	20	-
特別損失合計	512	110
税金等調整前四半期純利益	6,021	6,541
法人税、住民税及び事業税	1,329	2,181
法人税等調整額	370	96
法人税等合計	1,699	2,277
四半期純利益	4,321	4,263
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	△11	35
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,333	4,228



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	4,321	4,263
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	322	90
為替換算調整勘定	△87	172
退職給付に係る調整額	△2	0
その他の包括利益合計	232	262
四半期包括利益	4,553	4,526
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,572	4,455
非支配株主に係る四半期包括利益	△18	70

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,021	6,541
減価償却費	1,250	1,237
返品調整引当金の増減額(△は減少)	16	4
のれん償却額	264	271
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10	△55
賞与引当金の増減額(△は減少)	33	△35
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△24	△19
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△5	-
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△96	△21
利息返還損失引当金の増減額(△は減少)	△102	△21
受取利息及び受取配当金	△294	△250
支払利息	63	79
デリバティブ評価損益(△は益)	△344	△1,699
投資有価証券売却損益(△は益)	△14	△33
投資有価証券評価損益(△は益)	370	-
為替差損益(△は益)	△60	11
有形固定資産売却損益(△は益)	△987	-
固定資産除却損	31	110
売上債権の増減額(△は増加)	△754	482
営業貸付金の増減額(△は増加)	△1,031	△1,203
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,631	△2,097
販売用不動産の増減額(△は増加)	△36	△353
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△263	128
仕入債務の増減額(△は減少)	1,516	18
その他の流動負債の増減額(△は減少)	1,129	△173
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△6	7
その他	△168	4
小計	3,863	2,933
利息及び配当金の受取額	287	231
利息の支払額	△62	△78
法人税等の還付額	8	47
法人税等の支払額	△2,845	△1,898
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,251	1,235

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△879	△191
定期預金の払戻による収入	860	190
有価証券の売却による収入	785	100
有形固定資産の取得による支出	△9,149	△3,813
有形固定資産の売却による収入	2,890	0
無形固定資産の取得による支出	△226	△325
投資有価証券の取得による支出	△1,527	△439
投資有価証券の売却による収入	365	206
子会社株式の取得による支出	-	△4,924
貸付金の回収による収入	14	-
長期貸付けによる支出	-	△492
差入保証金の差入による支出	△356	△625
差入保証金の回収による収入	62	1
その他の支出	△62	△159
その他の収入	11	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,212	△10,472
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,623	1,971
長期借入れによる収入	2,985	5,668
長期借入金の返済による支出	△1,799	△1,961
非支配株主からの払込みによる収入	19	-
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△2,226	-
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△607	△607
リース債務の返済による支出	△320	△256
その他の支出	-	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,674	4,811
現金及び現金同等物に係る換算差額	34	7
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,250	△4,417
現金及び現金同等物の期首残高	19,416	22,028
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,165	17,610

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	店舗販売 事業	ソリュー ション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	37,002	20,411	7,287	2,795	1,690	3,507	2,166	—	74,863
セグメント間の内部 売上高又は振替高	229	71	0	135	—	11	35	△484	—
計	37,232	20,483	7,287	2,931	1,690	3,519	2,202	△484	74,863
セグメント利益 (又はセグメント損失△)	1,093	714	590	1,180	723	513	△453	△131	4,231

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳132百万円とのれん償却費△264百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	店舗販売 事業	ソリュー ション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	35,712	21,455	12,040	2,593	1,859	3,204	2,294	—	79,161
セグメント間の内部 売上高又は振替高	304	66	—	129	—	30	39	△571	—
計	36,017	21,522	12,040	2,723	1,859	3,235	2,334	△571	79,161
セグメント利益 (又はセグメント損失△)	832	1,193	791	1,014	812	183	△526	△449	3,850

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳△177百万円とのれん償却費△271百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。